

HA LONG

南はメコン、北はハロンへ。

クルーズで巡る ベトナム水の旅

メコンデルタなら日帰り、ハロン湾なら日帰りや1泊2日が定番だったベトナムの船旅。でもそんな短い旅程ではもったいない。メコンデルタは1泊2日、ハロン湾は2泊3日と、日程を少し延ばすだけで自然や人々の暮らしに触れ旅心を120%満たしてくれる、クルーズの旅へご案内。

撮影／杉田憲昭（メコンデルタ）、大池直人（ハロン湾） デザイン／田中可奈子
取材協力／Victoria Hotels & Resorts (Song Xanh SAMPAN)、Bhaya Cruise、スケッチトラベル

MEKONG DELTA

MEKONG DELTA

悠久の時間を刻む メコンデルタ

この空の色から深い橙色へと変化していく

1泊2日、ソンサン号の旅

メコンの魅力は 活気と混沌だけにあらず

午前10時、ソンサンサンパン号に乗り込み、カイベ（Cai Be）の栈橋を出発する。メコンデルタクルーズといえば東南アジア特有の熱気や雑多な雰囲気を想像していたが、目の前に広がる果てしない青空と悠々と流れるメコン河の姿に、ゆったりとした気持ちに包まれる。行き交う舟の上には、子どもたちの姿もちらほら。聞けば、夏休みの間だけ両親と遠くの省からやってきたのだという。こちらに向けられる、はにかんだ笑顔や「ハロー！」という人懐っこい呼び声の1つ1つに手を振り返せるのは、人々と同じ目線となる、背丈の低いこの船に

乗っているおかげかもしれない。

船上や川沿いの町の営みと川面に映える空の表情を楽しめるのも、1泊2日の船旅ならではの。小舟を漕いで向こう岸へ買い物に出たり、網を投げ入れ魚獲りをしたりする人々とすれ違うたび、どちらからともなく、にこやかに挨拶を交わす。そんなメコンデルタの日常をのんびりと眺めながら1日が過ぎてゆく。

夜の帳が下り始める18時過ぎになると、あたりは静まり返り、夕焼けの深い橙色に滲んで揺れるメコンの美しいワンシーンに、思わず息を呑んだ。



①行き交う舟のナンバープレートにKGと書いてあればキンヤン（Kien Giang）省など、彼らがどこからやってきたのが分かる ②せわしなく瞬いていた水面が落ち着きを取り戻す昼下がりが。昼寝から目覚めた人々の日常が垣間見られる ③この夕焼けのために、ここへ来る価値あり ④ご近所同士で手漕ぎ舟を出し、ちょっと向こう岸まで買い物へ

この地ならではのスポット巡り&メコンを独占できるキャビン!



①現在に使われていない窯の内部。立ち上る煙が白ならレンガを窯に入れた直後、黒なら仕上がりが間近 ②メコン川クルーズの名所であるカイラン（Cai Rang）の水上マーケット ③水路をゆらり。小舟から見える景色もひと味違って面白い ④島では、カフェの開店祝いに豚の丸焼きの準備をしていた



ほかでは体験できない マニアックなスポットを訪ねて

船内での贅沢な時間はもちろん、この地ならではの場所を巡るのも、この船旅の魅力だ。出発して2時間ほどで、焼き物工房に到着。古墳のような形の窯がぼこぼここと建ち並び、まるで昔話の世界にタイムスリップしたような感覚に。普段は入れない窯の中に潜入でき、レンガやタイル作りの工程を説明してもらう。その後は、船を先に進めて、小説『愛人／ラマン』の舞台となったサデック（Sa Dec）

へ。華僑青年のモデルとなったフイン・トゥイレ（Huynh Thuy Le）氏の家や、主人公のフランス人少女が通った学校などを訪れる。2日目の朝は、水上マーケットを見学。各地から訪れた商人の船の間で、コーヒーや麺売りの小舟が商売に精を出す風景も見物だ。小舟に乗り換えて水路をゆっくりと進み、川沿いののどかな島を散策してから、目的地のカントー（Can Tho）へ。



⑤レ氏の家を少女が訪れたことはないそう。家の床にはくぼみがあるが、水＝財という中国の考えに基づき水が溜まるようにしてあるため ⑥出来立てキャンディーは、熱々！ 十分に冷まして手作業で包む



5つ星ホテルが運営する唯一無二のプライベートな船旅

メコンデルタの風景に溶け込むように、ゆっくりと進むソンサンサンバン号。竹で編んだ屋根でぐるりと全体を囲う旅情感あふれる造りは、数日かけてこの地へやってくる商人が、雨風をしのぎ疲れを癒すための昔ながらの知恵だという。1隻を貸し切るプライベートクルーズなので、大切な人との時間を満喫したい人にぴったりの船旅だ。

5つ星ホテル「ヴィクトリアリゾート＆ホテル／Victoria Resort & Hotel」の運営だけあって、開放感あふれる客室や清潔感のあるバスルームを備えた船内は、ワンランク上の優雅な空間。丁寧なサービスも相まって、心潤うひと時を約束してくれる。デッキから変わりゆく空の色を眺めたり、月明かりの下で語り合ったりと、日帰りでは体験できない楽しみ方も。ちなみに、船長が乗客に最も見てほしい景色は、青紫に色づく神秘的な夜明け前の空だそう。

ソンサンサンバン／Song Xanh SAMPAN

クルーズの詳細、問い合わせはスケッチトラベル ☎ p.24) まで



①風通しがよく広々とした優雅な船内。ベッドは蚊帳付きなので、虫刺されの心配もない ②この小舟に乗り換えて水路に行く ③ボリューム満点の朝食。朝日を浴びながらデッキでいただく ④1日目の昼食は、定番のベトナム料理やフルーツ ⑤ガイドを含む4人のクルーが乗船

どこまでも続く 碧の海

2泊3日、ハロン湾の旅



2目に立ち寄ったティートップ (Ti Top) 島からの絶景

風の海に抱かれ大自然のしなやかさに触れる

夏の暑さがじんわりと体を包み、湾に向けてバーヤ号はゆっくりと動き出した。港付近の水は濁っていたが、海面から突き出た岩山が見え始めると、海は徐々に鮮やかな碧色へと変わっていく。頬をなでる潮風が心地よく、体の中からみついていた熱はいつの間にかすっかり引いていた。ハロン湾の自然は実に様々な顔を見せてくれる。切り立つ岩山の下には小さな洞窟がいくつもあり、ある場所では小さな魚たちが回遊し、ある場所では色とりどりのクラゲがふわふわと浮遊している。昼間は強烈な太陽の光に照り付けられ、迫りくるような力強さを見せる岩山も、夕刻が近づくにつれ穏やかな表情へと変わる。豊かな自然の存在を感じながらゆっくりと時間が流れてゆく。

2泊3日ハロン湾クルーズの旅。船上で2泊と聞くと長いように感じるが、大自然を余すところなく堪能するには、この旅程がちょうどいい。主要観光スポットを回りながら、シーカヤックなどの海遊びやベトナム料理教室など、プログラムは実に多彩。それにもかかわらず、時間に余裕があるスケジュールのため、それほど体力を消耗することなく、また飽きることもなくハロン湾を楽しめるのだ。



2泊3日といえど、3日目は10時半の下船までクルージングを楽しむだけなので、実質は、ほぼ2日間といってもいい



①ベトナムらしいカラフルな漁船 ②巨大な岩山は、多くが緑に覆われている。様々な形の岩山は眺めているだけでも楽しい



充実のアクティビティと 快適な旅を約束するキャビン

シーカヤックにダイブ！ ハロン湾を存分に楽しむ

ハロン湾クルーズの中でも、最大の魅力が各種アクティビティだ。1日目は、真珠養殖のヴンヴィエン（Vung Vien）漁村観光に、ベトナム料理教室、フリータイムの遊泳。2日目は、早朝の太極拳に始まり、カヤックでサントイ（Sang Toi）洞窟を探検するほか、ハロン湾観光の目玉であるスンソット（Sung Sot）洞窟やティートップ（Ti Top）島へ立ち寄りといった具合。

中でも、特におすすめなのがシーカヤックと遊泳だ。カヤックは、初めての人でもコツをつかんでしまえば意外と簡単に進む。水面下を悠々と泳ぐ魚たちを見やりながら、パドルを漕いでいると、あっという間に時間が過ぎてしまう。カヤックをひと通り楽しんだら、遊泳タイム。停泊中のバーヤ号近くで、自由気ままに泳ぐのもよし、サンデッキの上から海へ飛び込むもよし。



2



3

①行き交う竹舟や漁船を横目にパドルを漕ぐ ②2日目の午後に訪れるティートップ島のビーチ。スケジュールは天候や時期などによって変わる ③サントイ洞窟付近には、無数のクラゲが浮遊する場所がある ④2日目。サントイ洞窟付近に停泊した船のサンデッキからダイブ！ ⑤1日目。日が傾き始める頃、デッキではベトナム料理教室が開催 ⑥小さな島の内部に洞窟が広がる、スンソット洞窟



4



5



6



1

湾を眺めて眠りにつく優雅な船上バカンス

辺りが夕闇に包まれ、太陽は山の影にひっそりと姿を沈めゆく。バーヤ号が停泊するのは、背の高い山々に囲まれた波のない静かな場所だ。サンデッキでカクテルを片手に、ほどよい疲労感に包まれながら1日を終える贅沢な時間は船上泊ならではの。

船上2泊ともなれば、クルーズ船に求められるのは、やはり居心地の良さや快適さだろう。バーヤ号は「バーヤクラシック／Bhaya Classic」、「バーヤクラシックプレミアム／Bhaya Classic Premium」の2種類あり、キャビン数も船によって異なるが、すべてに共通しているのはリラックスできる空間だ。船内の設備は、客室のほかレストラン＆バー、ビーチチェアなどが置かれたサンデッキとシンプルだが、3日間を過ごすには十分。スタッフのきめ細やかな対応もバーヤ号ならではの、ストレスなく船上での非日常感を楽しませてくれる。

バーヤ／Bhaya

クルーズの詳細、問い合わせはスケッチトラベル (P.24) まで



2



3



4



5

①落ち着いた雰囲気のカビン内。各種アメニティはもちろん、ミニバーも完備 ②たっぷりのお湯が出るシャワールーム ③キャビンから湾を眺められる。客室によってはプライベートバルコニー付きのタイプも ④朝食はシェフがオムレツなど卵料理をその場で調理してくれる ⑤ディナーは、メイン料理に魚または肉を選べる

優雅な船旅はクルーズ船から

編集部厳選！ おすすめクルーズ船

メコンデルタとハロン湾には、船上泊ができるクルーズ船がまだまだある。
中でもおすすめのクルーズ船を厳選してご紹介。

Mekong
Delta

ラ・マン／L'Amant



写真提供／ロンヤンクルーザー

客室は木材を多用し落ち着いた雰囲気、エアコン、セーフティボックス、プライベートバルコニーを完備

1930年代のコロニアル様式をモチーフにした全12室のキャビンを擁するクルーズ船。マルグリット・デュラス著、小説『愛人／ラマン』を船名に冠し、ミトー（My Tho）、ヴィンロン（Vinh Long）など、メコンデルタの各地をクルーズ船で巡る各種ツアーを主催する。ツアーは1泊2日が主要だが最大6泊7日まで多彩に用意。どのツアーもデュラスが過ごし、小説の舞台にもなったサデック（Sa Dec）へ立ち寄る。

ロンヤンクルーザー／LONG GIANG CRUISER

📍 82-83, 7 St., An Phu Ward, Dist. 2, HCMC
☎ (08) 6281 0222 (内線 135) ／ 090 977 2262 (予約)
<http://lamant-cruises.com>

Ha Long

ゴールデンクルーズ／Golden Cruise



ハロン湾クルーズの「バイター／Bai Tho」号や、蟹料理に定評がある海鮮料理店「クアヴァン／Cua Van」と同系列

その名の通り、金一色の豪華絢爛な大型クルーズ船。船内には、レストラン＆バー、フィットネス、スパ、エレベーターなどを完備。ハロン湾のクルーズ船の多くは、下階が客室で上階がレストランという造りだが、同船は客室からの眺めがよいようにと、レストランを下階に、客室を上階に設置。全48室の客室は5種類あり、スイートにはジャクジー付きのプライベートバルコニーがある。

ゴールデンクルーズ9999 Tourist 📍 p.26
<http://goldencruise.vn>
問い合わせはスケッチトラベル 📞 p.24) まで。

新スポットが続々登場！

ハロン湾最新情報

ハロン湾クルーズの旅の起点となる町、ハロンが大きく生まれ変わろうとしている。バイチャイ（Bay Chay）地区とホンガイ（Hong Gai）地区を結ぶケーブルカーをはじめ、水族館や遊園地、ビーチなどを擁する一大エンターテインメントスポット「オーシャンパーク」が建設中だ。完成は2019年を予定。

オーシャンパーク／Ocean Park

📍 Bay Chay Ward & Hong Gai Ward, Ha Long, Quang Ninh Province



2015年7月5日（日）現在、バイチャイ側のビーチはすでにオープンしており、近くでは遊園地を建設中



写真提供／ハイアウ航空 3

ハイアウ航空ならハノイから約30分！

空から楽しむハロン湾の旅

ハノイーハロン湾間を約30分で運航するハイアウ航空。
空から眺めるハロン湾は、新たな旅の楽しみ方を提案してくれる。

2014年にハノイーハロン湾間の運航を開始したハイアウ航空。機体は、米国セスナ社の「セスナグランドキャラバン EX」を使用し、ノイバイ（Noi Bai）国際空港とハロンのトゥアンチャウ（Tuan Chau）島をわずか約30～45分で結ぶ。陸路なら4時間以上かかってしまうハノイーハロン湾のアクセスが向上し、ハロン湾への旅行がより身近になった。

同路線の一番の魅力はやはりハロン湾を空から楽しめること。船上からしか見ることができなかった風光明媚な景色を、

高度150～3000mから眺められるようになったのだ。ハノイーハロン湾片道約30分の飛行の場合、ハロン湾上空を飛ぶのはわずか数分。30分の飛行に加えてハロン湾を15分間周遊するフライトもあるので、ぜひこちらも試してみたい。

ハイアウ航空／Hai Au Aviation

【ハノイ】
📍 70-72 Ba Trieu St., Hoan Kiem Dist.
☎ (04) 3943 9966
【ホーチミン市】
📍 10F, TMG Bldg., 157 Pasteur St., Dist. 3
☎ (08) 3820 7272
✉ rsvn@haiauviation.com
www.seaplanes.vn

①天候により異なるが10～12人乗り。ノイバイ空港では滑走路の離着陸、ハロン湾では水上の離着陸となる。料金の目安はハロン湾発ハノイ591万2500VND（約3万3790円） ②カナダ出身のデイヴィッド（David）機長 ③45分のフライトならハロン湾を眼下に飛行 ④ハノイへ向かうフライト。快晴の日は遠くまで見渡せる ⑤コックピットの仕切りがなく、操縦の様子を見るのも楽しい



4

5